

平成27年度定時総会

5月30日に開催

＝仙台市福祉プラザで＝



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚 文

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

平成27年度の公益社団法人宮城県芸術協会定時総会は、5月30日午後3時10分から仙台市青葉区五橋の仙台市福祉プラザふれあいホールで開かれる。総会では、平成26年度の事業報告および決算などが議題。27年度の事業計画と収支予算については、理事会の議決案件のため報告事項となる。詳細を6面、7面に掲載。

公益社団法人として活動する上に関わる事業が計画されている。当協会は、公益法人化から3年目を迎えた。これまで培った事業内容を土台に、協会の持続的経営を見据えながら、公益性の高い事業の更なる展開が求められる。そのためには各事業の質的向上と県民に対する開かれた協会の意識し、事業内容の充実を図ることになる。

今年度の事業計画も、宮城県芸術祭の開催、芸術文化の振興に関する展覧会・講演会・研究会・発表会などの主催または後援による鑑賞機会提供事業・伝統文化体験事業・人材育成事業などの他、国内および国外との芸術文化の交流や会員の資質向上

芸術祭の一般公募が年ごとに拡大しているなか、今年度で36回目となるピアノコンクールが芸術祭事業として初めて組み込まれる。一般公募を既に実施している部門も含め、公募の周知に向けた広報活動も重要になってくる。

第52回宮城県芸術祭は、9月25日に開会式が行われる。ピアノコンクールの終了が3月となるため、今年から閉会式が表彰式にかわり11月26日に行われる。芸術祭で一般公募を予定している絵画、彫刻、写真ではそれぞれ入選作品を展示。文芸で

は公募した優秀作品を文芸祭で発表する。

国連防災会議の副産物 水戸さんが記念講演

定時総会に先立って、午後2時から行われる恒例の記念講演は、文芸部会員（川柳）の水戸一志さんが担当する。

水戸さんは、3月中旬に仙台市で開かれた「第3回国連防災世界会議」で、事前PRの情報発信チームキャップを務めた。

会議への関心を高める仙台市の戦略として一年前から情報発信を展開。この中で災害の被災地復興に寄与する芸術関係者の一面に触れることができたという。講演は「芸術家が驚いた芸術の底力（国連防災世界会議の副産物）」と題して、取材体験の一部を紹介。復興を急ぐお役所の視野に、初めは全く入っていなかった災害と文化・芸術の関係について、芸術活動における「日常」とは何か、という視点から話題提供の形でまとめる。

総会後に河北文化賞祝賀会

当協会は第64回（平成26年度）河北文化賞を受賞し、1月17日に仙台湾際ホテルで行われた贈呈式で、大場尚文理理事長が河北新報社の一力雅彦代表取締役社長から賞状と賞牌、副賞

受賞祝賀会が開催されることになった。会場は仙台市青葉区国分町（旧ホテルリッチ）で、午後6時からの開会となる。

100万円を受けた。受賞後、大場理事長が受賞の挨拶を行い、推挙者として若生正博宮城県副知事が、当協会の業績を紹介した（7面に要旨を掲載）。

各会員には別途通知されるが、芸術創立以来の半世紀にわたる活動が評価されていることから、多くの会員の参加が望まれる。会費は6,000円、当日会場受付での納入となる。参加申し込みは、5月19日（火）までに電話、FAX、Eメールなどで芸協事務局へ。

受賞にあたり、多くの会員から祝賀会の要望があったため、5月30日の定時総会終了後に、

5月30日の定時総会終了後に、

外部役員の就任可能に

理事会 法人運営規程を改正

3月20日開催の平成26年度第5回理事会で当協会の法人運営規程が改正され、これまで正会員のみだった役員に会員以外からの就任も可能となった。

公益法人化の前は、当協会は会員以外の役員として外部理事、外部監事を置いていたが、現在は法人運営規程第2条、第3条で、理事、監事の候補者はいずれも正会員の中から選出する規程になっている。これは公益法人制度の改正で理事・監事の損害賠償責任が重くなったため、公益法人への移行にあたり、役員はすべて正会員の中から選出するようにしたことによる。

役員は構成としては現状で問題はないが、他の公益法人では、監督機能の充実化、コンプライアンス（法令順守）の向上、事業運営の客観性の担保の観点から、外部役員を置くなどして広く外部の意見を取り込む方策を採っている例が多い。

当協会でもこうした外部役員

（第3条）監事の候補者は理事会において推薦する。（以下略）
（附則）（追加）この規程は平成27年4月1日から施行する。

芸術祭実行委員会 を部長会議に統合

いくともにも、これまで以上に外部との連携を強化し、より透明性の高い開かれた組織にしていくことが望ましいことから、今回の法人運営規程の改正に至った。

この改正を受けて、5月30日に開催が予定されている平成27年度定時総会に、4月20日開催の平成27年度第1回理事会で推薦を受けた外部理事候補者2名の理事選任について議案が提案されることになった。

【法人運営規程改正内容】
（第2条）理事の候補者は次のとおりとする。（以下略）

当協会では、平成26年度部長会議の意見を踏まえ、今年度から芸術祭実行委員会を部長会議に統合して開催することになった。

芸術祭実行委員会は毎年2回開催され、芸術祭実施についての諸課題や実施後の反省などを話し合ってきた。部長会議は、公益法人化に際し、事業の円滑な運営と部門間の意思疎通を図るために新設され、法人運営規程で位置付けされているが、昨年度は1回しか開かれていない。

小崎・菊田・蓬田の3氏が名誉会員に

平成26年度第5回理事会では名誉会員の推薦について審議さ

れ、絵画部の小崎隆雄、書道部の菊田翠谷、文芸部の蓬田紀枝子の各参事が名誉会員に推薦された。これを受けて理事長が3氏に就任を打診し、本人の承諾

により、4月1日付で名誉会員に就任となった。

法人運営規程第7条第2項では「理事長は、参事の職にあり、満85歳に達し、理事会から推薦された会員を名誉会員にするこ

新入会員今年は73人 期待される一層の取り組み

当協会の正会員になるには、正会員2名以上の推薦を得て申し込み、理事会の承認を受けなければならない（定款第7条）。

この規定にもとづき、第5回理事会では、平成27年度の新入会員として各部門から推薦された73人について審議が行われ、全員の入会が承認された（3

面）。部門別では、絵画部が23人で最も多く、茶道部13人、文芸部12人、写真部9人、書道部6人、華道部5人、彫刻部2人が続き、工芸部、洋楽部、邦楽部が各1人となっている。舞踊部と演劇部に新入会員はいない。

第4回理事会で確認された平成27年度予算編成方針では、正会員、賛助会員数の拡大による会費収入の増加が大きな目標とされ、新入会員100人の入会を見込んだ予算が計上されている。理事会は年4回予定されており、年度途中でも入会が可能なことから、各部門における新入会員増加に向けた更なる積極的な取り組みが期待されている。

両会議ともメンバーは、理事長、執行理事、部長又は副部长と顔ぶれがほぼ同じであることから、部長会議として年3回開催することで会議の効率化が図られ、毎回芸術祭以外の課題についても議題にできるメリットがある。各部門の意見をより多く反映できるため、芸協の活性化に繋がるものと期待される。

【彫刻部】大槻俊之（部長）
阿部弘子（副部长）

【茶道部】鎌田宗節（部長）

◆新運営委員

【彫刻部】早坂修【書道部】無着孝章、柳由美子【華道部】平石春隆【洋楽部】青田知子、小林郁、福原佳三【文芸部】西恵美子

◆部長・副部长の交代

四月一日付で彫刻部と茶道部

宮城県知事賞に齋藤尚生君

第35回ピアノコンクール

小・中学生を対象とした、当協会主催の第35回ピアノコンクール本選（予選は2月15日実施）が3月25日、仙台市の宮城野区文化センターで開かれた。

予選に75人が挑み、本選に進んだ29人の中から審査の結果、宮城県知事賞に齋藤尚生君（仙台市泉ヶ丘小5年）、仙台市長賞に高橋乙寧さん（宮教大附小1年）、河北新報社賞に前川直央君（名取市増田小4年）が、それぞれ選ばれた。各級の受賞者は次のとおり。

数字は学年（敬称略）。

〔初級〕
 最優秀賞Ⅱ 高橋乙寧（宮教大附小1） 優秀賞Ⅱ 真鍋望咲（富谷町東向陽台小3） 小野寺優花（仙台市片平丁小1） 成澤建一郎（仙台市中山小1） 奨励賞Ⅱ 小川真由（宮教大附小2）

〔中級〕
 最優秀賞Ⅱ 前川直央（名取市増田小4） 優秀賞Ⅱ 高瀬彩音（仙台市黒松小6） 斉藤裕大（仙台市西多賀小5） 奨励賞Ⅱ 及川華奈（仙台市将監中央小4） 富澤

梨々花（富谷町東向陽台小5） 齋藤夕姫（仙台市長命ヶ丘小6） 作曲者賞Ⅱ 斉藤裕大、前川直央

〔上級〕
 最優秀賞Ⅱ 齋藤尚生（仙台市泉ヶ丘小5） 優秀賞Ⅱ 沼田唯花（仙台市寺岡中2） 奨励賞Ⅱ 鈴木亜実（仙台市東仙台中2） 作曲者賞Ⅱ 沼田唯花

このコンクールは、昨年度まで「音楽コンクール（ピアノ部門）」として実施されてきたが、今年度から「ピアノコンクール」に名称が変更された。

研修旅行は11月にタイへ

平成27年度の海外研修旅行は、11月16日（月）から21日（土）までの6日間、タイのバンコク、チェンマイ、チェンライ方面に決まった。タイの歴史・文化や少数民族の伝統工芸などを探訪する旅となる。

詳細は7月末発行のはなやま205号に掲載予定であるが、参加希望者は今から日程の確保を。

平成27年度新入会員名簿

部 門	氏 名(本 名)	住 所	部 門	氏 名(本 名)	住 所
【絵画部】			【洋楽部】		
〈日本画〉	武 地 美枝子	仙台市太白区		叶 光 徳	仙台市太白区
〈日本画〉	田 中 加代子	黒川郡大郷町	【邦楽部】		
〈日本画〉	土 屋 薫	仙台市青葉区	〈長唄〉	杵 家 弥登八 (小山昌子)	仙台市泉区
〈日本画〉	服 部 珠 枝	仙台市泉区	【文芸部】		
〈洋画〉	有 川 通 子 (阿部通子)	仙台市青葉区	〈俳句〉	あいざわ 静子 (相澤静子)	仙台市泉区
〈洋画〉	氏 家 春 夫	仙台市若林区	〈俳句〉	及 川 源 作	塩釜市
〈洋画〉	小田島 幸 風	仙台市宮城野区	〈俳句〉	鎌 形 清 司	柴田郡柴田町
〈洋画〉	鹿 野 幸 多	栗原市	〈俳句〉	酒 井 美代子	多賀城市
〈洋画〉	川 名 利 江	仙台市宮城野区	〈俳句〉	佐々木 博 子	大崎市
〈洋画〉	クマガイケイコ (石山佳子)	仙台市宮城野区	〈俳句〉	高 宮 義 治	仙台市青葉区
〈洋画〉	後 藤 俊 彦	塩釜市	〈俳句〉	中 井 由美子	仙台市青葉区
〈洋画〉	小 西 達 也	仙台市宮城野区	〈俳句〉	宮 野 かほる	遠田郡美里町
〈洋画〉	高 橋 順 子	仙台市太白区	〈川柳〉	佐々木 妙 子	仙台市青葉区
〈洋画〉	武 田 秀 作	白石市	〈川柳〉	佐 藤 久 嘉	多賀城市
〈洋画〉	千 葉 郁 男	栗原市	〈川柳〉	下 田 和 子	仙台市青葉区
〈洋画〉	土 田 正 正	仙台市泉区	〈川柳〉	谷 かすみ (熊谷肇子)	気仙沼市
〈洋画〉	内 藤 順 子	名取市	【茶道部】		
〈洋画〉	中 藤 順 子	黒川郡大和町	〈裏千家〉	小 野 智 子 (伊藤智子)	仙台市太白区
〈洋画〉	福 井 郁 子	仙台市宮城野区	〈江戸千家〉	星 宗 重 (八重子)	仙台市太白区
〈洋画〉	蒔 田 来 来	柴田郡柴田町	〈煎茶三彩流〉	星 悠 華 (千絵美)	仙台市若林区
〈洋画〉	森 下 雪 子	仙台市泉区	〈宗徧流〉	浅 野 宗 美 (美保子)	仙台市太白区
〈洋画〉	門 奈 淳 輝	仙台市泉区	〈織田流煎茶道〉	加 藤 南 敦 (敦子)	仙台市泉区
〈洋画〉	山 本 安 輝	仙台市青葉区	〈大日本茶道学会〉	凜 淳 仙 (淳己)	仙台市泉区
【彫刻部】			〈大日本茶道学会〉	沼 口 節 仙 (節子)	仙台市泉区
	清 水 直 土	仙台市泉区	〈大日本茶道学会〉	我 妻 仙 朋 (有)	仙台市青葉区
	吉 澤 光 子	仙台市太白区	〈大日本茶道学会〉	我 妻 文 仙 (ふみ)	仙台市青葉区
【工芸部】			〈玉川遠州流〉	阿 加 藤 森 和 (美和)	柴田郡大河原町
〈木竹芸〉	小野寺 正	岩沼市	〈玉川遠州流〉	加 藤 森 保 (奈保美)	柴田郡川崎町
【書道部】			〈玉川遠州流〉	菊 森 宗 壑 (拓也)	仙台市青葉区
	岩 崎 陽 光 (陽子)	塩釜市	〈玉川遠州流〉	柴 田 晋 江 (時江)	刈田郡蔵王町
	佐々木 功 龍 (功)	仙台市若林区	【写真部】		
	菅 原 滄 鳳 (弘人)	仙台市若林区		鎌 田 利 明	仙台市泉区
	鈴 木 呈 子	石巻市		菊 地 廣 信	仙台市青葉区
	田 中 眞由美	宮城郡利府町		鈴 木 久 雄	仙台市太白区
	塚 田 美 翠 (久美子)	仙台市青葉区		関 口 洋 美	仙台市青葉区
【華道部】				高 武 田 城 晴	仙台市青葉区
〈池坊〉	小 野 清 千 (千晴)	仙台市若林区		野 澤 克 朗	石巻市
〈池坊〉	早 坂 秀 光 (国子)	仙台市泉区		村 上 勇 一 郎	仙台市泉区
〈草月〉	田 澤 麗 (礼子)	仙台市青葉区		渡 邊 興 次	石巻市
〈草月〉	早 坂 君 祥 (君子)	仙台市青葉区			
〈草月〉	洞 口 秋 楓 (裕美)	仙台市太白区			

杜の都大茶会

今年は 6 月 13・14 日

19 回目を迎える杜の都大茶会は、今年は 6 月 13 日(土) 14 日(日)に、当協会と河北新報社の主催で、仙台市青葉区勾当台公園を会場に開かれる。受付は午前 9 時 30 分～午後 4 時。

この茶会は、美味しいお茶とお菓子が評判で、誰でも気軽に参加でき、初夏の風物詩として市民に定着し、親しまれている。芸協茶道部加盟の 13 流派が 7 つの茶席でお点前を披露する。

◇6 月 13 日(土) 煎茶文雅静庵流、玉川遠州流、大日本茶道学会、江戸千家、煎茶道清泉幽茗流、宗徧流、裏千家

◇6 月 14 日(日) 煎茶道三彩流、石州清水流、遠州流茶道、織田流煎茶道、武者小路千家、表千家

茶券は、前売り券が 2 席分 1000 円、当日券は 1 席分 700 円、2 席分 1200 円。

本年度の文学散歩は、9 月 29 日(火) 30 日(水)の二日間。「会津の文学碑と人物探訪」をテーマとして、郡山・会津若松方面を訪ねる。

詳細は次号に掲載予定だが、智恵子記念館、こおりやま文学

の森資料館、会津本郷焼資料館、齊藤清美術館などを巡る。特に鶴ヶ城ではガイドが付き添い、周辺の散策が楽しめる。宿泊は東山温泉。

今回も内容の充実した文学散歩となる。ぜひご期待を。

当協会写真部は、1 月 7 日(土)に仙台市青葉区の「ギャラリー専」でチャリティー写真展を開催し、作品の売上金の一部など十数万八千円を東日本大震災で大きな被害があった山元町に復興支援金として寄付した。

2 月 18 日、佐々木光一執行理事と関敏彦運営委員が山元町役場を訪問して支援金を手渡しした。齋藤俊夫町長からは「当町を選んで頂き大変ありがたい」と感謝の言葉があった。

スケッチ 研修会

日本の原風景が残る 南会津の前沢・水引集落へ

本年度の絵画部スケッチ研修会は、日本の原風景が残る福島県南会津町の前沢・水引集落を訪ねる。茅葺家屋が主なスケッチポイントで、新緑に囲まれてスケッチを堪能する企画となっている。研鑽と親睦を深める研修会で、絵画部以外の参加も受け付ける。

【応募要項】
期日 平成 27 年 5 月 16 日(土) 17 日(日)
研修地 福島県南会津町前沢集落・水引集落
宿泊 会津高原ホテル(南会津郡南会津町高杖原五三五) 0241-78-2241
参加費 25,000 円(郵便振替にて芸術協会宛に振込) 締め切り 5 月 11 日(月)ただし、定員 40 名になり次第締め切る
申込み 電話で芸術協会事務局(022-261-7055)へ

【日程】
◇5 月 16 日(土) 8 時 20 分仙台駅東口バスプール集合(出発) ↓ 西那須野 SA ↓ 昼食 ↓ 前沢集落(スケッチ) ↓ 会津高原ホテル ↓ 昼食 ↓ 水引集落(スケッチ) ↓ プール到着 18 時 30 分(解散)



日本の原風景が残る前沢曲家集落

町長も加わり大合唱

ミュージックフェスタ 2014 in かみまち

当協会、加美町、宮城県文化振興財団の共催による「みやぎミュージックフェスタ 2014 in かみまち」が 2 月 15 日、中新田バツハホールで開かれた。

本年度は「地域文化の継承」をテーマに、プログラムは第一部かみまちの未来へ響け、希望のラッパ、第二部響け、和太鼓く和洋折衷の響き、第三部宮

山元町に復興支援金

写真部

城県芸術協会と地元音楽家との饗宴と絆のハーモニー、第四部オーケストラと合唱の饗宴、の四部構成で行われた。

当協会洋楽部会員、全国大会出場の実績もある地元の新田小学校プラスバンド部、広原小学校金管バンド部、中新田縄文太鼓伝承会による演奏が約 680 人収容のバツハホールに詰めかけた満席の聴衆を魅了した。第四部では、合唱団員として猪股洋文町長も加わり、聴衆と一体となった「ふるさと」の大合唱でフィナーレを飾った。

カメイ美術館共催絵画展

平成の芸術祭賞作品第1弾

当協会とカメイ美術館共催の絵画展「選ばれし作品の軌跡―平成の芸術祭賞13年―」が、青葉区のカメイ美術館で2月3日から3月15日まで開かれた。

本展には平成元年から13年までの宮城県芸術祭絵画展の芸術祭賞受賞作品など22点が展示された。会期内の入場者は1、697人であった。

会期中の2月14日には出品者によるギャラリートークを開催。100人近い来場者が作家自身の作品解説に耳を傾けた。

また、3月7日には当協会洋



たくさんの来場者で賑わったギャラリートーク

事務局まで連絡を。

また残部があるので、希望者は

いて執筆した。

年の取り組みの状況、公募展につ

いて執筆した。

また残部があるので、希望者は

事務局まで連絡を。

また残部があるので、希望者は

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

事務局まで連絡を。

「北斗39号」を発行

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

東北・北海道芸文協

宮城県より推挙いたしました「公益社団法人宮城県芸術協会」様のご功績について紹介させていただきます。

宮城県芸術協会は、「宮城県の文化芸術の柱となり、その振興と発展に寄与すること」を目的に昭和39年に結成され、昨年、創立50周年を迎えられたところ

河北文化賞贈呈式

文化芸術の発展に 欠かせない存在

若生正博副知事スピーチ要旨
(1月17日 仙台国際ホテル)



溢れていたと伺っております。宮城県芸術祭は、第31回から本格的に巡回展の開催が始まったほか、第50回から絵画・彫刻・写真の3部門の公募展が、第51回からは文芸作品の公募展が加わるなど、今日に至るまで優秀な芸術の公演・発表を促し、創造と発展に寄与する多彩な芸術

協会をはじめ、会員の皆様方のご尽力の賜物であり、重ねて感謝を申し上げます。また、宮城県芸術協会におかれましては、東日本大震災に際し、チャリティー展の開催や積極的な募金活動を通じて義援金の寄贈を行っていただくなど、復興に多大なご貢献を賜っております。それとともに、平成6年から韓国大邱市との日韓国際交流を開始されたほか、本県と中国吉林省との文化芸術交流事業に積極的にご協力をいただくなど、東北のみならず海外の文化芸術団体などとの交流を通じて、文化芸術の発展や表現技法の研鑽に努めておられます。

であります。

協会設立当時は、宮城県の芸術分野への取り組みが遅れていたこともあり、県内の文化人の有志の皆様が「最高のものを鑑賞し、県民の芸術教養の水準を高めよう」という熱意のもとに開催した第1回宮城県芸術祭は、各会場とも観客の方々の熱気で

祭として、継続的に開催されてまいりました。

県といたしましても、皆様方とともに文化芸術の振興に

加わり、宮城県芸術祭は県内外から数万人の観客数を誇る本県を代表する文化行事となっております。

今では、宮城県や仙台市、そして河北新報社様なども共催に加わり、宮城県芸術祭は県内外から数万人の観客数を誇る本県を代表する文化行事となっております。

これらひとえに、宮城県芸術

平成 27 年度 事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業 1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団の七団体共催により、本年で第52回目となる宮城県芸術祭を開催する。期間は9月25日（金）の開会式（会場：せんだいメディアテーク）から、11月26日（木）の表彰式（会場：ホテルメトロポリタン仙台）を経て、本年度より新たに芸術祭事業に組み込んだ3月20日（日）の第36回ピアノコンクール本選までの期間となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場
展示関係事業	書 道 展	9月25日（金）～9月30日（水）	せんだいメディアテーク5F・6F
	工 芸 展	9月25日（金）～9月30日（水）	せんだいメディアテーク5F
	華 道 展	10月2日（金）～10月7日（水）	せんだいメディアテーク5F
	写 真 展・写 真 公 募 展	10月2日（金）～10月7日（水）	せんだいメディアテーク5F
	絵 画 展（公 募 の 部）	10月2日（金）～10月7日（水）	せんだいメディアテーク6F
	彫 刻 展・彫 刻 公 募 展	10月2日（金）～10月7日（水）	せんだいメディアテーク6F
	絵 画 展（会 員 展）	10月9日（金）～10月14日（水）	せんだいメディアテーク5F・6F
演奏関係事業	長 唄 演 奏 会	10月25日（日）	仙台市民会館
	音 楽 会	11月5日（木）	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文 学 散 歩	9月29日（火）～9月30日（水）	福島県会津方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日（木）	800部発行
	文 芸 祭	10月17日（土）	仙台市戦災復興記念館
茶 会	茶 会	10月11日（日）・18日（日）・25日（日）	輪王寺
巡回展事業	絵 画・書 道 展 栗 原 展	10月27日（火）～11月1日（日）	栗原文化会館
コンクール事業	第36回 ピアノコンクール	予選：2月14日（日）	日立システムズホール仙台
		本選：3月20日（日）	

※展示関係事業：各展会期中には出品者によるギャラリートークや作品解説、作品制作の実演などを各部において企画し、実施する。また、写真部では写真公募展と連動させながら年度内に数回、県民を対象した写真セミナーを実施する。

※文芸関係事業：文芸祭では一般を対象とする文芸作品を公募し、優秀な作品の発表、表彰等を行う。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業 2】

多くの県民に、本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会を提供するとともに、芸術文化に関する人材の育成と各分野の幅広い裾野拡大及び普及啓発を図ることを目的とし、各事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
鑑賞機会提供事業	第52回宮城県芸術祭絵画展 受賞者作品展	1月18日（月）～1月24日（日）	東京エレクトロンホール宮城
	（カメイ美術館共催） 第7回絵画作品展	1月下旬～3月上旬	カメイ美術館
	みやぎミュージック フェスタ in みさと	2月21日（日）	美里町文化会館
伝統文化体験事業	第19回 杜の都大茶会	6月13日（土）・14日（日）	勾当台公園
人材育成事業	県民との美術交流 ・ギャラリートーク	10月10日（土）	せんだいメディアテーク5F・6F
	書道部による県内小中学校 への講師派遣事業	通年	県内小中学校
後援事業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、名義使用を承認し、必要に応じて賞状や賞品等を提供する。（平成26年度承認実績：82件）		

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業 3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東北・北海道交流写真展	6月12日（金）～6月17日（水）	山形県芸文美術館
仙台・大邱国際芸術 交流事業	（日・韓国際交流） 仙台・大邱交流絵画・写真展	10月12日（月）～10月15日（木）	大邱文化芸術会館

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業：交流写真展開会日の6月12日には「平成27年度東北・北海道芸術文化団体協議会総会」が開催（於：山形県芸文美術館）される。

※仙台・大邱国際芸術交流事業：協会において協会役員及び出品者による訪問団を結成し、作品展会期内に大邱へ訪問する。

(4) その他の事業（相互扶助等事業）について

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する各研修事業と、本法人の活動状況等を発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物を刊行する事業を次のとおりを実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会（講師：水戸一志氏）	5月30日（土）	仙台市福祉プラザふれあいホール
	絵画部スケッチ研修会	5月16日（土）・17日（日）	福島県南会津町方面
	書道部研修会	9月27日（日）	エルパークせんだい
	第42回研修旅行	11月16日（月）～21日（土）	タイ（バンコク・チェンマイ方面）
発 行	機関紙「はなやま」発行	年4回発行（4・7・11・1月）	

平成27年度正味財産増減予算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	5,000	5,000	0	0	5,000
受取入金	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	2,000,000
受取会費	0	0	0	11,620,000	11,620,000	0	11,020,000	22,640,000
事業収益	6,904,000	56,000	2,020,000	0	8,980,000	5,200,000	0	14,180,000
受取補助金等	0	0	250,000	0	250,000	0	0	250,000
受取負担金	13,299,000	0	0	0	13,299,000	0	0	13,299,000
受取寄附金	115,000	0	0	0	115,000	0	0	115,000
雑収益	140,000	0	0	0	140,000	0	40,000	180,000
経常収益計	20,458,000	56,000	2,270,000	12,625,000	35,409,000	5,200,000	12,060,000	52,669,000
(2) 経常費用								
事業費	28,117,001	2,288,599	5,084,400	0	35,490,000	8,770,000	0	44,260,000
管理費	0	0	0	0	0	0	8,364,000	8,364,000
経常費用計	28,117,001	2,288,599	5,084,400	0	35,490,000	8,770,000	8,364,000	52,624,000
当期経常増減額	△7,659,001	△2,232,599	△2,814,400	12,625,000	△81,000	△3,570,000	3,696,000	45,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	7,659,001	2,232,599	2,814,400	△12,580,000	126,000	3,570,000	△3,696,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	45,000	45,000	0	0	45,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	46,741,321	46,741,321	0	0	46,741,321
一般正味財産期末残高	0	0	0	46,786,321	46,786,321	0	0	46,786,321
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	220,000	0	0	0	220,000	0	0	220,000
指定正味財産期末残高	190,000	0	0	0	190,000	0	0	190,000
III 正味財産期末残高	190,000	0	0	46,786,321	46,976,321	0	0	46,976,321

奥津典子さん、正職員に



昨年3月 1日から期 間雇用職員 として芸協 事務局に勤

務している奥津典子さんが、4 月1日付で正職員の「主事」に 採用された。芸協の仕事への適 性が高く、勤務状況も良好なこ とから採用に至った。芸協の正 職員採用は、平成21年の伊藤敏 之主任以来6年ぶりとなる。

大場尚文理事長から辞令を手 渡された奥津さんは「会員の皆

さんのご指導を頂きながら、芸 協のために頑張りたい」と抱負 を述べた。

奥津さんは庶務をはじめ、芸 術祭や各部門の事業などを担当 することになり、事務局の貴重 な戦力として活躍が期待される。

事務局日誌

会務報告

- 2・6 芸術祭展示部門代表者会 議
- 第52回宮城県芸術祭の主な日程 について
- 第52回芸術祭の対応について
- 日程と会場の割り振りについて
- 3・20 理事会
- 平成27年度事業計画(案)及び 収支予算(案)について
- 法人運営規程の改正について
- 新入会員(正会員)の承認につ いて
- 名誉会員の推薦について

後援

- ☆塩竈市杉村惇美術館開館記念 「市民所蔵の杉村惇作品展」
- 3月8日～4月12日
- 塩竈市杉村惇美術館
- ☆山形栄一墨彩画展
- 3月14日～22日
- 美里町近代文学館
- ☆第3回「子供の邦楽コンサート」
- 4月5日

宮城野区文化センター

☆2015みやぎの書60人展

5月1日～7日

せんだいメディアアテーク

☆東日本大震災復興祈念創元展宮 城巡回展

5月8日～13日

せんだいメディアアテーク

☆第1回二科東北支部連合展

5月8日～13日

せんだいメディアアテーク

☆第61回全国公募東北書道展

5月15日～20日

せんだいメディアアテーク

☆第51回生田流箏曲演奏会

5月16日

仙台市民会館

☆今野深泉書作展

イズミティ21

☆第3回リアン協会絵画展

7月3日～8日

せんだいメディアアテーク

☆第50回チャール会仙台

7月3日～8日

せんだいメディアアテーク

☆第61回全国公募南書道展

7月10日～15日

せんだいメディアアテーク

☆第34回板橋健独唱会

7月17日

仙台市戦災復興記念館

会員の入賞・入選など

- ◇2014宮城写真サロン
- ▽秀作Ⅱ山本かつい
- ◇第九十九回二科展
- ◇(絵画部)▽会員推挙Ⅱ及川英 之
- ▽入選Ⅱ石川由巳子、玉川浩嗣
- ◇上野の森美術館大賞展
- ▽入選Ⅱ菅原典子

受贈書

()は寄贈者
北炎詞華集(濱田利昭)、東日本 大震災以後の海辺を歩く、みちの くからの声(原田勇男)、第八集 泥の会 合同歌集(中川嘉一)

謹 弔

書道部 佐藤時子殿

平成25年3月1日

工芸部(染織) 櫻田治子殿

平成26年12月10日

茶道部(煎茶文雅静庵流) 小川静美殿

12月25日

絵画部(日本画) 宮澤早苗殿

4月11日

けやきの譜

このところ、空模様がおかし い。昨夏も高温が続く中で、ゲ リラ豪雨、強風に竜巻や火山の 爆発まであった。冬は大雪が各 地を襲い、待望の春はひどい駆 け足で、各地の桜だよりを早め た。宮城・山形両県にまたがる 蔵王山には4月、噴火注意の「火 山周辺情報」が出された。▼こ うした異変は異常な事件を誘発 しがちなのか、ストーカーや現 職警官らによる殺人、介護疲れ を含む肉親殺しなどが多発。海 外では不条理なテロが後を絶た ず、イスラム国による殺人や世 界遺産の破壊など、目を覆いた くなるような状況が横行してい る▼こんな時こそ、芸術・文化 の出番ではないか、との声も聞 かれる。3月中旬に仙台市で開 かれた第3回国連防災世界会議 でも、災害時に芸術家に求めら れる役割などが話題に上った▼ このことについては、5月30日 の当協会定時総会に先立つ記念 講演で、文芸部の水戸一志会員 による話題提供が予定されてい る。年の後半は何とか未年にふ さわしい、静かな落ち着きが欲 しいものだ。(恂)